全国民生委員・児童委員リーダー研修会に参加して

三郷市　東和西第2地区民生委員・児童委員協議会　副会長　兵動英代

委員歴：11年２ヶ月

令和6年10月17日と18日に、全国民生委員・児童委員リーダー研修会に参加しました。この研修には全国から154名が集まり、初めは少し不安もありましたが、参加者同士がすぐに打ち解け、同じ経験を共有する仲間意識が芽生えたことで、安心して取り組むことができました。

研修では、厚生労働省やこども家庭庁の行政説明があり、地域福祉や子ども政策の最新動向について学びました。また、桃山学院大学の南友二郎先生からは、リーダーとしての役割についての講義を受け、グループワークを通して意見交換を行いました。特に、民生委員活動を充実させ、継続性を高めるための運営方法について、全国の委員とディスカッションしたことが印象的でした。

グループワークでは、定例会のオンライン化や柔軟な運営方法が提案されました。例えば、渋谷区の事例ではタブレットを活用してペーパーレス化を実現し、効率的な運営を行っています。また、定例会で親睦を深めるためにカラオケを取り入れたり、新任委員が安心して活動を始められるような支援体制を整えたりする事例も紹介されました。

さらに、宝塚大学の日高庸晴先生の講義では、セクシュアルマイノリティに関する人権理解について学びました。無神経な言動が相手を傷つけることや、医療現場での差別の実態を知り、多様性を尊重することの重要性を改めて感じました。こうした知識を深め、誰もが安心して暮らせる社会を目指していきたいと思います。

令和７年12月の一斉改選を控え、心に残った言葉があります。南先生の「生活の課題は近くにいないと見えない、すなわち近くにいないと支援ができない」という言葉です。

欠員出た地区を兼任し忙しい思いをすることばかりに目がいきがちでしたが、先生のおっしゃる通り、地区の皆様が安心して生活していくためにも民生委員・児童委員の必要性を再認識しました。

また、地区定例会は事例検討に重きを置き、意見交換等で委員が抱える問題や不安を少しでも解消できる場所にしていきたいと思いました。

今回の研修を通じて、全国の事例から多くの学びを得ることができました。この経験を地域に活かし、欠員の解消や活動の効率化を進め、住民に寄り添う支援を続けていきたいと考えています。